



10月31日夕方、北小学校の校庭から100発近い花火が上がった。PTAのOB有志「北小おやじの会」は、PTA主催の北小まつりにあわせて「校庭打ち上げ花火」を企画し、実現させた。発端は、コロナ禍で学校行事・PTA活動が縮小するなか、OBの一人が「みんなに元気になってもらうために花火はどうかな？」とつぶやいたこと。この一言がきっかけとなり「駄目でもと、できなかつたら仕方ない。やるだけやってみよう！」とおやじの会が動いた。周りの理解を得るために、試行錯誤しながら企画書を作成。この情熱に学校と自治体共感し、協力を得ることができたという。ポスター制作、寄付金集め、当日の警備などの活動も、みんな協力して行った。花火の打ち上げ当日、子どもと保護者は自宅や見晴らしのよい丘などで、すぐ近くで上がる迫力ある北小花火を楽しんだ。翌朝、校庭の掃除を終えたおやじの会メンバーは、喜びを分かち合った。

校庭打ち上げ花火で 子どもにも笑顔を

上田市立北小学校 おやじの会

例年行っているPTA活動の多くが、コロナ禍で縮小や中止となっている。それでも、「子どもたちのためになにかしたい、子どもたちに思い出を作りたい」という思いで、コロナ禍で実施された、上田市立北小学校おやじの会と、木曾町立福島小学校PTAの活動を紹介します。



子どもたち/PTA・保護者の感想

★学校から上がる花火が家から見られてよかった ★豪華でビックリした!! ★間近で見られて迫力があってすごかった!
★きれいな花火を見られて大切な思い出になった
★とても感動した

発行
長野県PTA連合会
長野市旭町1098信濃教育会館内
TEL 026-235-4361
発行者/熊谷 弘
編集者/高山 顕光

長野県PTA連合会HP

チーム信州PTA!

思いついたら、まずやってみる!

～挑戦し続けるPTA活動～



ベルマークの集計作業は年に5回前後行っていました。一年間の作業を経験し、夜子どもを家に残して出かけることや集計の大変さを実感。何とかこの負担を減らせたいかと思っていたところ、隣の学校でウェブベルマークを始めたこと聞き、担当の子育て委員長に相談して昨年度末に取り入れてもらいました。

導入のきっかけ

これまでのやり方にプラスα

web版の導入は初めはなかなか進みませんでした。商品についていたベルマークを切り取る方が慣れているという意見や、スリーパーに置いた収集箱にご協力くださる地域の方もいるためです。それでも、まずは始めてみようとう登録を行い、導入しました。

ウェブベルマークの導入

木曾町立福島小学校PTA

今年度は、webを活用したPTA活動が目ざされている。ウェブベルマークもその一つだ。そこで、すでに導入している木曾町立福島小学校PTAの千村副会長に話を聞いた。



県P総務委員会 「コロナ禍における郡市・単位PTA活動の意識調査」

(単位PTAからいただいた回答の一部を掲載)

①令和2年度のPTA活動の実施状況

PTA 総会	369	36	1
学級懇談会	351	50	7
PTA 作業	267	122	1
PTA 新聞	362	17	26
資源回収	154	141	111
研修会・講演会	161	224	31
地区との懇談会	95	227	78

②感染防止に配慮した活動の工夫

- 有志による合唱団をつくり、歌でエールを子どもに送ろうと、リレー方式のビデオを配信
- PTAフェスティバル中止に伴い、子どもたちが楽しめるウォークラリーを新設
- 会議や研修などのリモートはありがたいがたかた
- 本当に必要な活動なのかを見直す、よい機会と捉えた

③その他・困っていること

- 保護者同士が顔を合わせる機会がなくなり残念
- PTA活動(行事)の実施の可否判断がとても難しい
- 執行されないPTA予算について、返金等の検討が必要
- 活動が中止になり、来年度の役員に引き継ぐ際に具体的なノウハウが抜け落ちてしまうことが心配

9月に実施した調査では、400校を超える単位PTAよりご回答いただきました。ご協力に感謝いたします。調査の詳細はホームページに掲載いたします。

チーム信州PTAの仲間たちvol.1 南信州米俵保存会 酒井裕司さん

(飯島町立飯島中学校PTA)



思いを込めて米俵を作る酒井さん

自分の仕事を通じて子どもたちの「生きる力」を育てたい。これはPTAだからこそできるキャリア教育だと思っています。これからキャリア教育活動が広がっていくことを願っています。

わら細工を通じて「生きる力」を

日本は「瑞穂の国」といわれるようにお米の国です。米文化の一つである、わら細工の伝統を継承しようと始めたのが米俵を担いで走る「飯島町米俵マラソン」です。これが評判となり、今では大相撲の土俵場の俵を任されるまでになりました。

わら細工の活動はPTAでも積極的に進んでいます。昨年度は、小学5年生の栽培した田んぼの稲わらを使って大相撲の初場所の土俵を製作し、実際に子どもたちに国技館で観戦してもらいました。自分たちの育てたわらが国技を支えたことに誇りを持ってもらえたと思います。



子どもたちのために 公益財団法人 長野県学校給食会 〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5 TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535

未来の子どもたちの教育のあり方

長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会

11月10日に信濃教育会館において、長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会が開催された。県の教育の方向性や未来の教育のあり方について意見が交わされた。

冒頭で、県P熊谷弘会長は「アフターコロナ、はいずれくる。今この厳しい状況なかでも子どもたちはたくさんのことを学んでいる。子どもたちのために、県教委に率直に意見を投げかけ、学びたい」と挨拶した。続いて、原山隆一県教育長は「これからの社会は変化の激しい時代、そして予測困難な時代と言われている。今日は新しい学びの方向性やICT活用について懇談し、一緒に取り組みたい」と述べた。以下に主な内容を載せる。

ICT教育の導入・活用方法
 県教委・今年度中の1人1台端末の導入に向けて各市町村と整備している。端末の導入に当たっては「学習のツール」との受けとめが大事である。セキュリティ面の整備、活用のルールやガイドラインの作成、子どもの心身の健康面への配慮について関係各機関で連携して取り組んでいきたい。

新しい高校入試制度
 県教委・高校改革については「新たな社会を創造する力」の育成を目指していきたい。新しい高校入試制度は、新型コロナウイルスへの対応に鑑み、一年延期し、現小学5年生が受検する2025年度選抜から実施することを決定した。今年度の高校入試にお

効果的な部活動運営の方向性
 県教委・今年度9月に、文科省が「休日の部活動の段階的な地域移行」という方向を示した。県では来年度から実践、実証を行う。専門的な技術を身に付けた生徒、授業や学級の指導に力を入れたい教員のニーズに応えるため、「部活動指導員」による専門的な指導を推進している。引き続き人材確保に努めたい。また、複数校による「合同部活動」については、県中体連や競技団体等と今後検討を進めていく。

皆さんと力を合わせることで、この世界は変わっていく



熊谷会長と原山教育長

厳しい状況のなかにある

子どもたちのために



ICT教育の導入・活用方法

くく」につながっていく。ICT教育の導入・活用方法
 県教委・今年度中の1人1台端末の導入に向けて各市町村と整備している。端末の導入に当たっては「学習のツール」との受けとめが大事である。セキュリティ面の整備、活用のルールやガイドラインの作成、子どもの心身の健康面への配慮について関係各機関で連携して取り組んでいきたい。

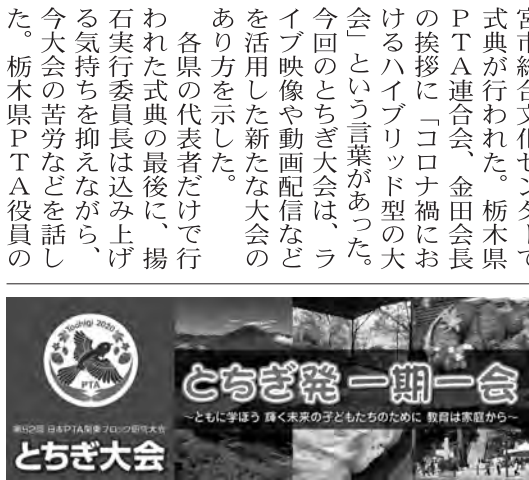


効果的な部活動運営の方向性

以上のほかに、県教委より令和3年度から県立中学校・高等学校において導入される「新しい学びの指標」についての説明があった。また「学校現場はコロナの対応に追われている。人的配置などで県教委の力を貸してほしい」との声も聞かれた。最後に、原山教育長は「講評のなかで『皆で力を合わせる』により、世界は変わっていく。新たな世界が実現できる。子どもたちに新たな社会を創造する力をつけることが、私たちが世代的責任だ。これからも一緒にやっていきましょう」と述べた。

第52回日本PTA関東ブロック研究大会

皆さんが手を取り合い、素晴らしい会を実施されたことに会場より大きな拍手が送られた。



関東ブロックとちぎ大会の動画ご視聴へのご協力ありがとうございました。

新役員研修会についてのご案内

令和3年度の新役員研修会は、一堂に会しての研修が難しいことから、左記の予定でweb研修会を行います。

新役員の皆様と共に、コロナ禍でのPTA活動と学校教育について考えます。

なお、動画については長野県PTA連合会HPよりYouTubeで、どなたでも視聴いただけます。是非ご覧ください。

令和3年度 新役員 Web研修会

企画1 プレYouTubeライブ

令和3年2月27日(土) 9:00~9:40
 「コロナ禍でのPTA活動」～熊谷会長との座談会

企画2 新役員研修会(全県同時) Web開催

- YouTubeライブ&動画視聴
 令和3年3月6日(土) 9:00~9:50
 「PTA活動の概要と役員としての心構え」長野県PTA連合会会長 小池 徳男 様
 「新しい教育の方向」長野県教育委員会 桑原 昌之 様
動画配信 令和3年3月13日(土)より
- 1 長野県PTA連合会って? 長野県PTA連合会会長 熊谷 弘
 - 2 新しい教育の方向 長野県教育委員会教育主幹兼義務教育指導係長 小池 徳男 様
 - 3 (講演・座談会) 海外の教育と日本の教育って? 大日向小学校校長 桑原 昌之 様
 - 4 研究委嘱PTA発表 島内小学校・長小学校・阿智中学校・篠ノ井西中学校
 - 5 コロナ禍における家庭教育の重要性 長野県PTA連合会子育て委員長 伊藤 美知子



毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。 やっぱ信州の牛乳でしょ 検索

第11回長野県PTA三行詩コンクール

「楽しい子育て全国キャンペーン」

「家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」

今回は小学生2368点・中学生1765点・一般428点、合計4561点の応募がありました。コロナ禍にもかかわらず、たくさんのご応募ありがとうございました。

家庭での子どもたちとの会話が減り、つながりが希薄になってきていると言われる今日です。家族のきずなを深める大切な活動として授業にも取り入れている学校があり、三行詩は家族のことを考える貴重な機会となっています。次回も多くの応募をお待ちしております。

★最優秀賞（長野県PTA連合会長賞）

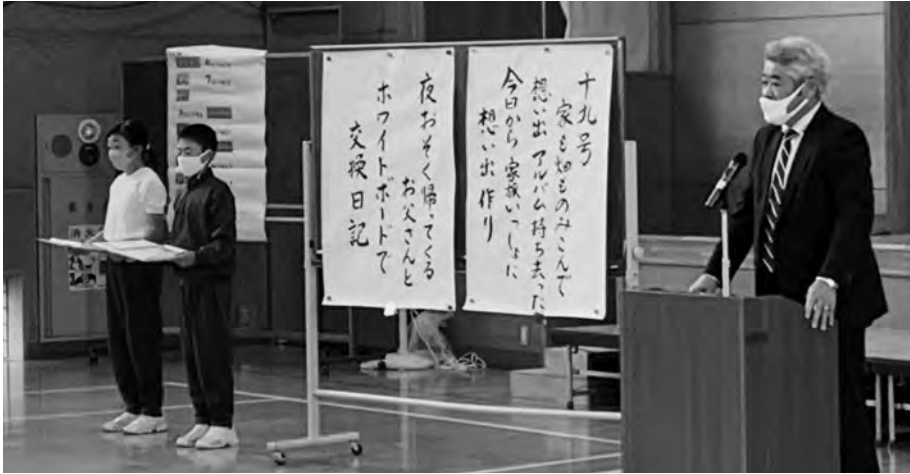
19号 家も畑ものみこんで

想い出 アルバム持ち去った

今日から家族一緒に想い出作り

神田 大樹（中野市立豊井小6年）

今年度で閉校になる中野市立豊井小学校。例年とは違うコロナ禍のなかですが、家庭・学校でたくさんの思い出を作ってもらいたいです。



令和2年度は『信州「教育の日」』が中止となりました。そのため、長野県PTA連合会長賞、信州「教育の日」実行委員会賞を受賞された皆さんには、学校に向いて表彰を行いました。

★優秀賞（信州「教育の日」実行委員会賞）

玄関でみんなの靴を並べながら思いついた

最近家族5人で寝ていないなあと思

お父さんとお母さんの靴の間に私の靴をおいた

小野 未央（中野市立南宮中3年）

さりげなく 荷物の重い方を 持つ君に
感じる成長 男らしさと頼もしさ
そして人を感じる やさしい心

藤井 康美（諏訪市立諏訪中保護者）

★優良賞

（小学生の部）

児玉 楓

有賀 暖

神田 愛結

小山 大翔

大兼政 綾胡

神澤 宗平

原 澄伶

横内 柚樹

北島 明美

佐々木 真美

山口 かほり

宮林 増実

（寺尾小保護者）

講評

昨年度は台風19号豪雨災害、今年度は休校や自粛生活と、普段とは違う環境のなかで、なかなか言えない感謝や思いやり

が表現されていました。家族との関わり大切さや、心温まる優しさが伝わってくる作品が多く、どんな苦難があった時も『家族のきずな』で乗り越えていけるのだと勇気づけられました。

長野市立篠ノ井西中学校PTA

「地域とともにある学校」をめざして

CS事業に力を入れることにより、地域の教育力を学校に活かすことができる。また、保護者や地域住民の関わりも増やすことができ、学校を中核とした地域の活性化にもつながることができると考える。

【研究内容】

生徒たちが学習相談や自学の場所として利用する放課後学習教室「つばな館」。幅広い人材による

生徒のキャリア形成のための講座も開設したい。「学びのテーマパーク篠西」では、地域のゴミ拾い活動や国際室に籍を置く生徒たちによる地域との懇談会など、生徒による校外活動を更に充実させたい。



【成果と課題】

「つばな館」の取り組みは、一層重要な活動となった。学習支援に加え、

松本市立島内小学校PTA

子どもたちのためのPTA活動のあり方

PTAとは何を目的とした集まりなのか、その現状を調査し、子どもたちのためのPTA活動のあり方を考えた。

【研究内容】

現状把握のため、保護者と子どもたちにPTA活動への意識調査を実施した。現状認識したうえで目的意識をもつて活動を行えるように、島内小学校PTA活動のあり方の指針などを作成する。

意識調査の結果、6割の保護者が「PTA活動は保護者・子どもに必要な機会だ」と思う」と回答した。

PTA会員に目的意識を十分にもつてもらうため、「PTAとは」「PTA活動に対する目的意識」の横断幕を昇降口に掲示した。

今後は、今年度作成できなかったPTA活動の指針を作成し、配布したい。また、「可能性ある



第29次 PTA実践報告

上田市立長小学校PTA

「わんぱく交流会」を通して PTAと地域ができること

共働き世帯が増え保護者の忙しさもあり、子どもたちの食に対する教育の場が少なくなっていると感じる。地域の大人たちと一緒に過ごす時間のなかで、素晴らしい食材があることや、大人たちの存在を子どもたちに実感させてあげたい。

【研究内容】

児童、先生、保護者が交流するわんぱく交流会で、みんなで持ち寄ったり、祖父母や地域の方々

から寄付していただいた野菜を調理する。(有タローファミリーのご協力のもと、豚を丸焼きにして食べ、豚に関するお話を聞き「食」と「命の大切さ」について考える。

交流会を通して身近に素晴らしい食材があるというのを知り、命をいたたいという大切なことや食の大切さ、多くの仲間と食べる食事の楽しさを実感できた。また、大



阿智村立阿智中学校PTA

地域・保護者をつなぐ PTA活動の取り組み

6小学校から入学する広域な学区のため、保護者同士のつながりや地域同士の関係が希薄になりやすい。

保護者や地域の方々との連携を図る取り組みによって持続可能な仕組みを目指したい。

【研究内容】

PTA親子環境整備
①昨年度資源回収の内容と反省の確認
②課題点・改善点の洗い出しと改善施策の検討

【成果と課題】
昨年度の研究をもとに、手立てを講じる予定であったが、残念ながら検証は行われていない。PTA活動の価値を見直し、どのようにしていきたいかを考



令和2年度全国表彰

全国表彰は、PTAにおける活動が社会教育の発展に貢献した団体・個人に対して行われるもので、教育の向上と文化の振興に寄与することを目的としている。

今年度の受賞団体と受賞者は次のとおり。(敬称略)

日本PTA全国協議会会長表彰

・塩尻市立吉田小学校PTA
・須坂市立常盤中学校PTA

(個人)

- ・森山 康晴(令和元年度副会長)
- ・小川 節(令和元年度副会長)
- ・小林 智(令和元年度副会長)
- ・森 しのぶ(平成30年度、令和元年度副会長)

優良PTA文部科学大臣表彰

- ・飯島町立飯島小学校PTA
- ・大町市立第一中学校PTA
- ・全国小・中学校PTA

(佳作)

- ・松本市立筑摩野中学校PTA

広報紙コンクール

子どもたちのために」という思いを共有し、継続していきたい。

長野県PTA連合会では、PTA活動の充実と発展のために研究委嘱事業を実施している。県内4地区を代表する単位PTAの2年度研究の実践報告から、その一部を紹介する。

える機会ももてたことが成果といえる。

資源物回収は地域や行政から求められている行事であり、持続可能な取り組みであるか方策を検討し、引き継いでいきたい。

子どもたちの心を守るために いま私たちができること

誹謗中傷等をなくして おもいやりのある社会に

9月25日、長野県PTA連合会は長野県や県教育委員会、諸団体と共に「新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言」を行った。新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷のない社会、健やかな暮らしと活気のあ地域経済の実現に向けた取り組み。子どもたちと保護者、先生や地域のみなさんなど全体的な心ない言動から守るために、いま私たちができることは何だろうか。

噂話を鵜呑みにしない、広めない

「感染者は家の前を通らないで」と濃厚接触者に言うなど、根拠のない悪口や嘘を言いふらして他人を傷つけることを誹謗中傷という。新型コロナウイルスに限らず、誹謗中傷や差別偏見に繋がる行為をしないことが大切。

- NO!**
- ×コロナにかかった(らしい)と噂する
 - ×感染者や勤務先、学校を特定しようとする
 - ×噂話や個人情報等をSNSや口コミで広げる

息子の言葉に

中学生保護者

「近所で新型コロナウイルスの感染者が出た」という情報が入った。息子の友達から濃厚接触者となつたらしい。誰なのか知り確かめたい私は、息子に聞いてみた。返ってきた息子の言葉は「本人から、言わないでって言われているから教えない」。

「人を責める言葉は言わない」「責める人がいたら『責めないで!誰でもかかる可能性があるものだから』と一言物申す」「本当かどうかかわからない情報を鵜呑みにしない。拡散しない」など10項目の行動指針を示した。思い合う心を、学校だけでなく地域に広げたい。

不安

知りたい

怒り



「多くの情報を得たい」その気持ちが誹謗中傷等に繋がることもある。よく考えて行動しよう!

規則正しい生活で体と心を健康に!

心にゆとりがない時は、誰もがイライラや不安になりやすい。規則正しい生活で免疫力を上げ、健康で明るく過ごしたい。家庭でできること、県内の学校を巡回する看護師に教えていただいた。

- ① 代謝・体温を上げる
 - ☆40度くらいの温かいお風呂に入る
 - ☆温かい飲み物で、心も体もリラックス
 - ☆寝る前にスマホなどを見るのをやめる
 - ☆毎日同じ時間に寝て、同じ時間に起きる
 - ☆朝の太陽の光をたたく
- ② 質の良い睡眠をとる
 - ☆寝る前にスマホなどを見るのをやめる
 - ☆3食しっかりと摂り、体力をつける
- ③ 栄養豊富な食べ物を積極的に摂る
 - ☆食事に気を配り、腸内環境を整える
 - ☆3食しっかりと摂り、体力をつける
- ④ よく笑う
 - ☆笑うことで体をリラックスさせ、ストレスを解消する

子どもの不安な気持ちを 受けとめる

齊藤恵理子さん
(NPO法人「健康サポートまごの手」代表)

新型コロナウイルスの捉え方は人それぞれで、神経質になりすぎてしまう方もいれば、3密に気をつけていれば大丈夫と考える方もいます。地域の施設や学校などで行うワークショップでは、一人ひとりが嫌な気持ちや辛い気持ちを素直に言葉にして吐き出すことで、たとえ結論は出せなくても安心することができます。子どもにとって家族は何より信頼できる人。子どもたちの不安やイライラを受けとめて、安らげる家庭をつくってほしいと思います。

NPO法人「健康サポートまごの手」
上田市を拠点に健康増進・介護予防の支援活動を行う傍ら、シトラスリボンを県内に広め、差別のない社会を目指している。



シトラスリボンプロジェクト

シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけることで、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す運動。おもいやりがあふれる暮らしやすい社会を目指す運動は全国各地に広まり、県内の小中学校でも人権を考える一つのきっかけとなっている。

シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場・学校」を表している。

長野県PTA連合会はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています



引き続き、感染予防を心がけよう

昨年3月からのマスク生活や外出の自粛などでコロナ疲れを感じてしまっている方もありますが、今後もマスク・手洗い等の基本的な予防と、3つの密を避けるなど慎重な行動を心がけたい。Withコロナの時代も、家庭と学校、地域、企業が支えあい、子どもたちの心を守ろう。

コロナ禍で学校生活はがらりと変わり、学校では工夫しながら教育活動を実施しています。コロナ禍だからこそ、「自分で判断・行動し、危険から自分の命を守る力」「人を差別しない強い心」「自ら課題をもって学習する、自学自習の力」などを子どもたちに身につけてほしいと強く感じています。

保護者の皆様には学校で指導している感染防止対策をご家庭でも徹底していただき、保護者の考え方や価値観が子どもに大きな影響を及ぼしますので、正しい人権感覚を子どもたちに示してほしいと思います。また、学校行事などの中止や変更について、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



コロナ禍だからこそ つけさせたい力がある

藤牧博和先生
(長野市立芋井小学校 校長 / 長野県PTA連合会副会長)

日常のささいな時間を大切に

家庭

中澤佳子さん
(信越放送機アナウンサー/小6男児の母)

仕事でパパパタの毎日で子どもとじっくり話す時間はなかなか取れていませんが、日常会話のほんのささいな瞬間に子どもの考えていることを垣間見たり、思いを共有したり、そんな時間を大切にしています。

なかなか私の話に乗ってくれない年頃ですが、ニュースの話題などについて「ねえねえ、これどう思う?」と粘り強く聞き、できるだけ子どもが考えるようにしています。

しかし、近頃は「自分で考えたら?ボケるぞ」と。反抗期、始まっています(涙)



- ◇ 広報委員会
新聞編集部
- ◎高山 顕光(小山小)
 - 林 明美(塩崎小)
 - 小林 恵美子(吉田小)
 - 森山 直々(安茂里小)
 - 黒岩 直貴(松代小)
 - 小林 朋子(山王小)
 - 松澤 雅子(古牧小)
 - 豊田 知恵(柳原小)
 - 小林 武史(附属長野小)

誰もが感染する病気を
噂を広げない
おもいやりをもって

長野県PTA連合会は新型コロナウイルス感染症に関して感染予防の徹底・子どもたちの学びの機会と人権を守ります

長野県 PTA 連合会小・中学生総合補償制度

～補償内容～

- ・友だちの家に行く途中に、車に接触し転んでケガをした。(傷害補償：全プラン)
- ・帰宅途中に、公園で遊んでいて隣接する家の窓ガラスを割ってしまった。(賠償補償)
- ・自転車で走行中に、お年寄りにぶつかり転倒させて、大ケガをさせた。(賠償補償)

→長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例に対応しています。
〈賠償補償は、お子様と同居の親族の皆様も対象です。〉

PTA 会員限定のお得な互助制度です。

お問い合わせ窓口：ジェイアイセントラル株式会社
〒390-0811 松本市中央 3-3-16 松本蔵の街ビル 4F
TEL0120-049-300【引受保険会社：共栄火災海上保険株式会社】

学校法人 鹿島学園高等学校 飯田校

通信制課程 連携

学習スタイルを選べる

- 個別指導
 - 完全個別
 - 少人数
 - 登校日数
 - 曜日・時間
 - 教科など
 - 一人でも通って高校卒業!
- 集団一斉授業
 - 学校行事
 - 修学旅行
 - 進路指導
 - 週1～5回登校
 - 私服でもOK
 - みんなで楽しく高校卒業!

駅からすぐ近く、教室で高校卒業できる!

入学相談会開催!
(学校説明会) 3校同時開催

生活保護・ひとり親・コロナにより影響をうけたご家庭に学費軽減制度有り!

学校法人 鹿島学園高等学校 飯田校
通信制課程 連携
〒390-0811 長野県飯田市内町5-430-5 第一吉川ビル301 JR飯田駅から徒歩2分
入学相談 ☎050-6860-3288